



2学期もあと2週間を切りました。インフルエンザの波が玉小にきてしまい学級閉鎖になってしまうクラスもあります。全国的にもいろいろな感染症が広がっているようなので、手洗いなどの基本的な感染予防を徹底し、睡眠や食事をしっかりとって免疫力を高め残り2週間を乗り切ってください。

## 人権を奪う戦争 ～人権講話より～

人権週間に先立ち、朝礼で人権に関する話をしました。人権とは「誰もが幸せに生きる権利」です。「おいしいものを食べる時」「温かい布団の中で眠るとき」「友達と遊んでいるとき」「家族といるとき」「好きなスポーツをしているとき」「ペットと遊んでいるとき」「好きな音楽を聴いているとき」「夢をもてること」……。幸せと感じる時は人によって違うと思います。しかし、世界を見てみるとその幸せを踏みにじってしまう「戦争」が起きています。「住むところを失う子ども」「けがをする子ども」「焼け野原にたたずむ子ども」などの写真を見せながら、戦争の様子を知ってもらいました。戦争は人権を奪ってしまいます。遠い世界でおこっているように感じますが、日本も80年前には戦争をしていました。今年度は玉小の創立150周年にちなんで「むかしの玉小」について話してきたので、戦争中の玉小についてスライドを見せながら話しました。

太平洋戦争が始まると「玉村小学校」は「玉村町国民学校」と名前が変わります。子どもを成長させるための教育する学校から戦争に勝つための教育する学校が変わります。竹槍で人をつく訓練や精神を鍛えるために寒さに耐えて行進する「耐寒行軍」、ひたすら声を出して行進する「野外強歩」をしたという記録が残っています。食料不足のため校庭にはあわやひえの雑穀の種がまかれ、軍用馬の餌にするため川原に草刈りにいったという記録もあります。防空壕を掘ったり、工場に働きに行ったりもしていました。空襲がひどくなった東京から120人の子どもが玉村に集団疎開してきました。いくつかのお寺に寝泊まりし、いつもお腹をすかして、親を思って夜に泣いている子どももいた、シラミがすごくていつも頭をかいていたなどの記録も残っています。太平洋戦争が始まって3年もたつと空襲警報がひんぱんになり、授業はできなくなったそうです。玉村にも空襲があり、一部で火災も起こったそうです。そして、1945年(今から78年前)8月15日に戦争は終わりました。

「なぜ、戦争がおきるのか?」そう簡単には答えられないかもしれませんが、「自分の国さえよければ」という考えが根底にはあると思います。

日頃の生活の中で、「自分さえよければ」「相手のことを考えない」は、戦争につながる小さな種かもしれません。どうすれば仲よくできるかを考えられるようになってください。

(子どもには写真などを見せながら、もっとやさしい言葉で話しました)



## 地域の力を生かして

玉小では地域の力を生かしてさまざまな教育活動を行っています。最近行った活動を紹介します。

2年生では、町立図書館を探検させてもらいました。古い本やあまり借りられない本をしまっておくバックヤードなど、普段見られない場所も見学させてもらいました。質問もたくさんしていました。

3年生では、社会科で農家の見学をしました、玉村町の名産「春菊」を摘んだり、大根を抜いたり、ビニルハウスを体感したりしました。

4年生では、総合で「福祉」について学習しています。社会福祉協議会の方を講師に車イス体験をしました。体験を通して相手の気持ちを考えることの大切さを実感できたようです。

5年生では、社会の工業の学習の一環で玉村町に工場のある「ケアコム」の方を招いて、「ものづくり」についての授業をしました。ケアコムは主にナースコールを作っていて、町民に農園体験をしてもらうなど社会貢献もしています。実際の製品の紹介や工業製品の進化など分かりやすく説明してくれ、ナースコールの組立を実際に体験させてもらいました。「ものづくり」に興味をもった子も多かったようです。



## 歯と口と体の健康を考えよう ～学校保健委員会～

12月7日に学校保健委員会を開きました。学校保健委員会は健康の課題について考え、解決していくことを目的に開かれます。これまで保健委員と先生、保護者で行っていましたが、今年度は3年生以上を対象に体育館で行いました。歯と口と体の健康について、養護の先生から玉小の状況を説明してもらい、保健委員が調べたことを発表しました。その後、学校歯科医と学校医の先生方からアドバイスをもらいました。歯にはたくさんの働きがあり、噛むことはとても大切だということが分かりました。最後に「電動歯ブラシの使い方」「フロスは必要か」「どのくらいの時間歯みがきをしたらよいか」などの質問にも答えてもらいました。PTAの方にも参加してもらい、とても有意義な時間になりました。これから実践できるようにしていきましょう。



## 心に響く美しい調べ ～移動音楽教室～

群馬県では3年に1度群馬交響楽団の移動音楽教室を行っています。4～6年生で1回、中学校で1回、本物のオーケストラの演奏を生で聴けることとなります。感性が豊かな子どもの時にこういう機会があることはとても素晴らしいと思います。聴いたことのある曲や「百万回生きたねこ」という話に音楽をつけた曲など、親しみやすく子どもたちも楽しめたようです。鑑賞するマナーもしっかりを守って聴くこともできました。



### <お知らせ>

上新田獅子舞保存会の方から、「獅子舞(ししまい)を習ってみませんか」というお知らせがありました。2月11日のお祭りにおむけて、2月から練習をするそうです。古くから伝わる伝統行事ですが、参加する人が少なくなっているようです。上新田に住んでいる人に限らず、誰でも参加できるそうです。教室にも案内を貼っておくので、やってみたい人、興味のある人は校長まで伝えてください。